

各位

## JMS、神戸で医療機器開発の新拠点

### ～神戸 MIC に参画、大学・病院との連携で「現場発」の製品開発を加速～

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：桂 龍司）は、神戸大学大学院医学系研究科 メドテックイノベーションセンター（MIC）に参画し、共創（オープンイノベーション）による新規事業創出活動を開始いたします。本取組みでは、神戸医療産業都市の集積を活用し、臨床現場に近接した環境において、ニーズ探索から事業化までを一体的に推進します。これにより、従来の自社単独では捉えきれなかった臨床ニーズの把握を可能とし、新規事業の創出と既存事業の価値最大化を加速してまいります。

#### ■ 背景と目的

近年、医療技術の急速な進歩と高齢化社会に伴い、医療ニーズは多様化・高度化しています。一方で、国内医療機器市場では海外製品への依存が課題とされており、臨床現場とものづくり現場が一体となった開発体制の構築が求められています。こうした社会課題に対応するため、当社は医療現場・アカデミア・企業が密接に連携する共創体制の構築を目指し、MIC への参画を決定しました。

#### ■ MIC の概要

MIC は、「スピード感のある医療機器開発」および「実践的カリキュラムによる人材育成」を目的に、産官学医が有機的に連携できる拠点です。最先端工学機器や医療機器を備えた研究開発ラボや共用のメディカルデバイス工房、企業向けレンタルラボに加え、多様な人材が交流できるスペースを有しており、臨床ニーズを起点とした持続的な医療機器の創出と創造的開発人材の輩出を目指しています。

#### ■ 取り組み内容

当社は 2026 年 4 月より、神戸大学 MIC 内において、共創による新規事業創出と既存事業の価値最大化を推進します。具体的には、以下のプロセスを一体的に進めてまいります。

##### ① ニーズ探索

神戸医療産業都市のネットワークを活用し、医療従事者・アカデミア・産業界の技術者が日常的に議論を交わす環境のなかで、従来の既存顧客ヒアリングでは見えなかった潜在課題を把握します。

##### ② プロトタイプング・検証

MIC の研究開発ラボやメディカルデバイス工房を活用した迅速な試作・評価により、共同開発を通じて開発初期段階から技術的妥当性を短期間で確認します。

##### ③ 事業化検討

知財・マーケティング・薬機法・保険償還などの開発専門家によるハンズオン支援を受けながら、社会実装価値のある医療機器開発を推進し、新規事業および既存事業への展開を検討します。

# Press Release

## ■ 今後の展望

本取り組みにより、社内の共創機運を高め、新規事業のアイデア創出と事業化を加速するとともに、既存事業のビジネスモデルのブラッシュアップを図ります。医工連携による社会実装を見据えた医療機器開発を通じて、医療の質向上と持続可能な医療機器産業の発展に貢献してまいります。

## ■ 研究開発本部 植松本部長コメント

「当社はこれまで自社の技術力を活かした製品開発を行ってまいりましたが、従来の顧客ヒアリングだけでは自社技術の範囲内に限定されたニーズしか把握できていませんでした。MICでの産学医連携により、この限界を突破し、神戸メディカルクラスター環境での多様なプレイヤーとの共創を通じて、真に医療現場が求める革新的な製品開発に挑戦してまいります。」

## 【参考資料】

### ■ 神戸 MIC

- ・ 所在地: 神戸市中央区港島南町1丁目5-1 神戸大学  
大学院医学系研究科メドテックイノベーションセンター  
産学共創ラボ 4A
- ・ 操業開始: 2026年4月
- ・ URL: <https://www.med.kobe-u.ac.jp/mic/>



### ■ 株式会社ジェイ・エム・エスについて

当社は1965年に設立され、広島県広島市と東京都に本社を置く医療機器メーカーです。ディスプレイ医療機器を中心とした製品・サービスを医療現場へ提供しており、「かけがえのない生命(いのち)のために」という創業精神のもと、輸液・栄養、透析、血液・細胞、外科治療の各分野で事業を展開しております。

URL: <https://www.jms.cc>

お問い合わせ先 経営戦略室 経営企画グループ

(電話) 082-243-9059

(e-mail) [pub-bpd@jms.cc](mailto:pub-bpd@jms.cc)